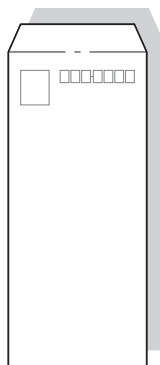


# 封筒に印刷する



封筒に印刷する場合は、アプリケーションから印刷するときにはプリンタードライバーのプロパティ画面の「給排紙」タブ画面で「紙種」と「用紙サイズ」を選択します。

## ⚠ 注意

- 特殊紙の印刷時、用紙によっては不快に感じる臭いが発生する場合があります。狭い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うときは、換気や通風を十分に行ってください。

種類	サイズ (mm)	推奨品名 (商品コード)	セット枚数
封筒	長形3号 (120 × 235)	ハート ケント 80g/m <sup>2</sup> (白) 長形 3号 ハート レーザー専用封筒 (白) 長形 3号	GE6000シリーズ 手差し : 10枚 GE5500シリーズ MPF1 : 9枚 カセット1 : 10枚
	長形4号 (90 × 205)	ハート ケント 80g/m <sup>2</sup> (白) 長形 4号	GE5000シリーズ MPF1 : 5枚 カセット1 : 10枚
	洋形1号 (120 × 176)	ハート 甲陽 洋形 1号	GE6000シリーズ 手差し : 5枚 GE5500シリーズ MPF1 : 5枚 カセット1 : 10枚 GE5000シリーズ MPF1 : 3枚 カセット1 : 5枚

## ⊗ 注意

- 封筒の種類やサイズ、印刷時の状況によってはしわが発生する場合があります。
- 封筒の裏面には印刷できません。紙づまりの原因になります。
- 次のような封筒には印刷できません。紙づまりや故障の原因になります。
  - 開封口にのりがついている封筒
  - 窓付き、留め金付き、ファスナー付きなどの封筒
  - 箔押し、エンボスなどの表面加工された封筒
  - 大きく反った封筒
  - 二重（内張りがある）封筒
- 洋形1号などのフラップを折り返してセットする封筒は、フラップの状態により印字位置の精度が他の封筒より悪くなる場合があります。

## 準備

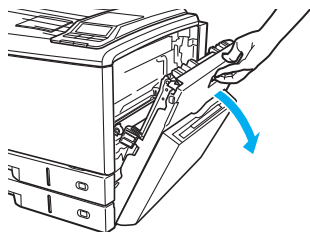
GE5500 / GE5000 シリーズの場合

GE5500 / GE5000シリーズは封筒を印刷する場合は、定着ユニットの圧力切り替えレバーを「封筒」にセットします。

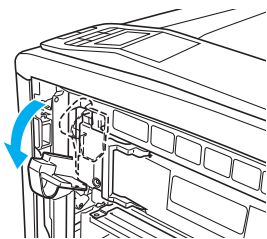


## ポイント

- 封筒の種類やサイズ、印刷時の状況によってはしわが発生する場合があります。



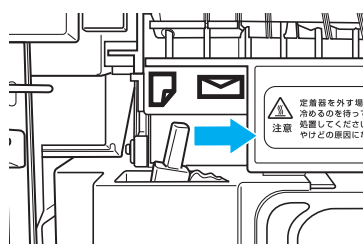
1. サイドカバーを開けます。



2. 定着解除レバーを下げます。

### ⊗ 注意

- 定着解除レバーは止まる位置まで確実に下げてください。途中までしか下げずに圧力切り替えレバーを無理に動かすと、レバーが引っ掛かり動かなくなる場合があります。

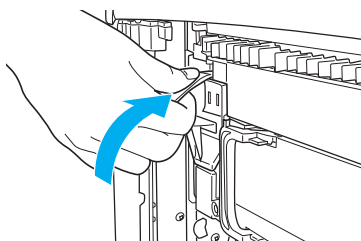


3. 圧力切り替えレバーを「封筒（右側）」に倒します。

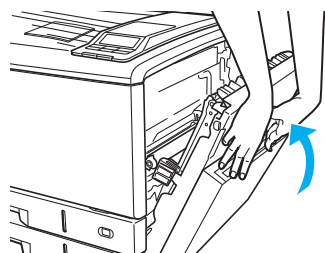


### ポイント

- 封筒の印刷が終わったら、圧力切り替えレバーを「普通紙（左側）」に戻してください。



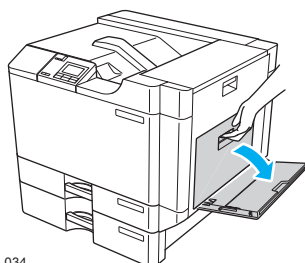
4. 定着解除レバーを上げます。



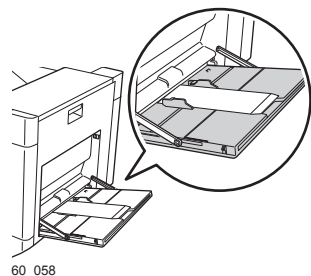
5. サイドカバーを両手でしっかり閉めます。

## 手差しトレイへの用紙セット

### 1-a. GE6000 シリーズの場合



1. 手差しトレイを開けます。

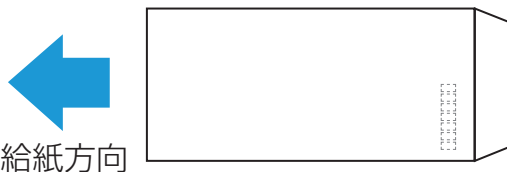


60\_058

## 2. 手差しトレイに封筒をセットします。

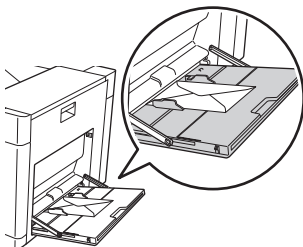
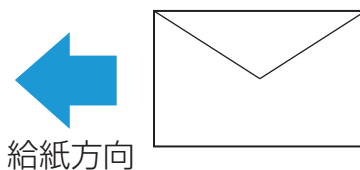
長形3号／長形4号

印刷する面を下向きにして、フラップを開けてセットします。一度にセットできるのは 10 枚までです。



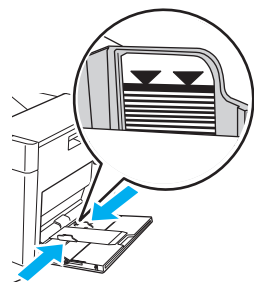
洋形1号

印刷する面を下向きにして、フラップを閉じてセットします。一度にセットできるのは 5 枚までです。



60\_059

## 3. 左右の横ガイドを、用紙の端にぴったり当たるように調整します。



### ポイント

- 横ガイドと用紙の間にすきまがあると斜め送りや紙づまりの原因となります。

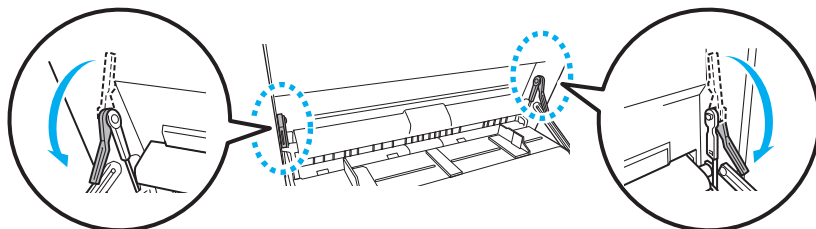
### 給紙がうまくいかないときは…

正面側と背面側の給紙圧変更レバーを操作してください。

#### ⊗ 注意

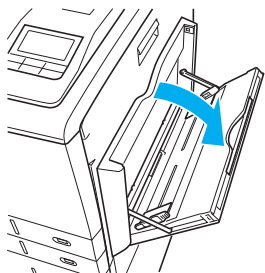
- 正面側と背面側の給紙圧変更レバーは、両側同じ状態で使用してください。片側が倒れ、片側が起きている状態で給紙すると、斜行や紙づまりの原因になります。

特殊紙を給紙する場合：給紙圧変更レバーを倒す

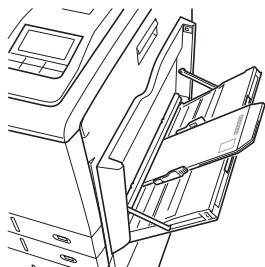


(適応紙種)・厚紙(129～256g/m<sup>2</sup>)

- ・はがき、封筒、特殊紙
- ・普通紙、厚紙で手差しトレイからの給紙がうまく行かない用紙



1. マルチペーパーフィーダー (MPF) を開けます。



2. MPFに封筒をセットします。

長形3号/長形4号

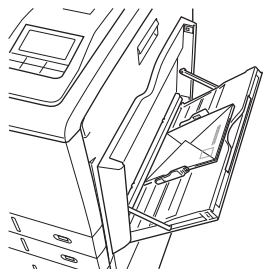
印刷する面を下向きにして、フラップを開けてセットします。

GE5500シリーズの場合

一度にセットできるのは 9 枚までです。

GE5000シリーズの場合

一度にセットできるのは 5 枚までです。



洋形1号

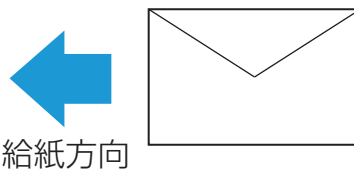
印刷する面を下向きにして、フラップを閉じてセットします。一度にセットできるのは 5 枚までです。  
他の封筒と比較して、斜行量が増加することがあります。

GE5500シリーズの場合

一度にセットできるのは 5 枚までです。

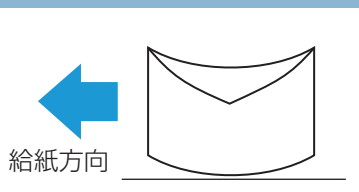
GE5000シリーズの場合

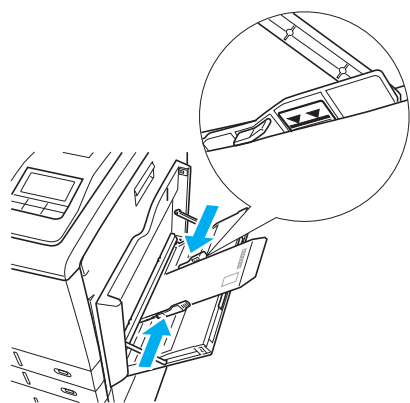
一度にセットできるのは 3 枚までです。



### ポイント

- MPFで洋形1号などのフラップを折り返してセットする封筒を印刷する際に、給紙がうまくいかない場合は、封筒をイラストのように少しカールさせてセットするとうまくいく場合があります。





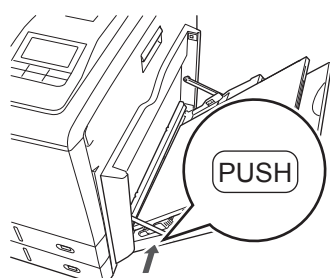
3. 左右の横ガイドを、用紙の端にぴったり当たるように調整します。



#### ポイント

- 横ガイドと用紙の間にすきまがあると斜め送りや紙づまりの原因となります。

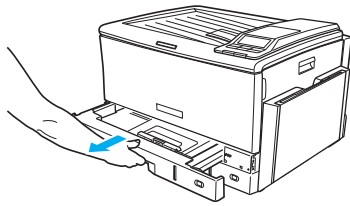
#### GE5500 シリーズの場合



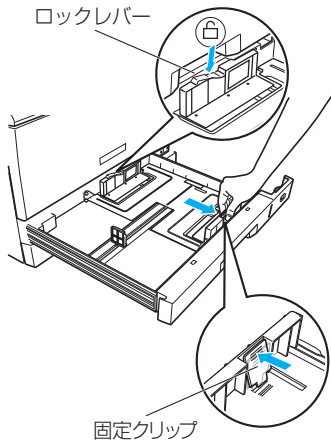
4. トレイ横の「PUSH」ボタンを押します。  
「PUSH」ボタンを押さないと給紙されません。

# カセットへの用紙セット

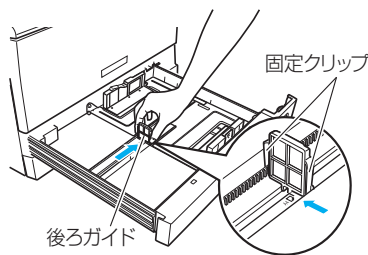
## 1-c. GE5500 / GE5000 シリーズの場合



1. カセット1を引き出します。  
・印刷中はカセットを引き抜かないでください。



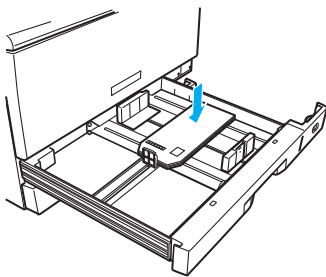
2. 奥側のロックレバーの解除（△）側を押し、横ガイドの固定クリップをつまみながら用紙が入る幅に移動します。



3. 後ろガイドの固定クリップをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に固定します。

### ポイント

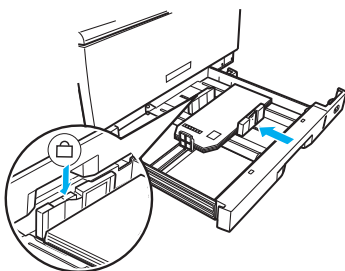
- ・クリップのツメが溝に固定され、セットする用紙サイズの位置にあることを確認してください。



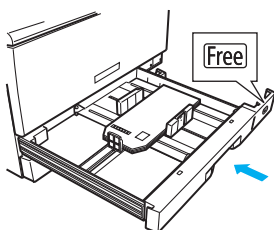
4. 印刷面を上向きにしてそろえ、カセットに入れます。

### ポイント

- ・セットできる用紙の量は、カセットの種類や用紙の厚さによって異なります。ご注意ください。



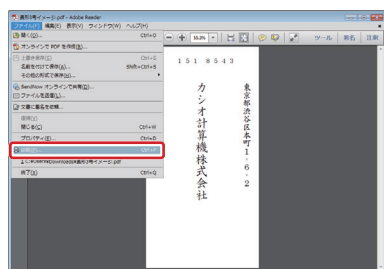
5. 横ガイドの固定クリップををつまみながら用紙に軽く当たる位置に調整し、ロックレバーのロック（△）側を押し固定します。



6. 用紙サイズダイヤルを「Free」に合わせ、ペーパーカセットをプリンターの奥までゆっくりと差し込みます。

# 印刷する

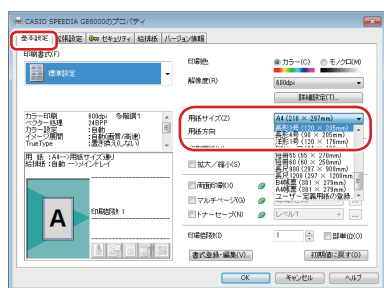
プリンターの機種により表示される画面が異なりますが、基本的な操作は同じです。



60\_0073

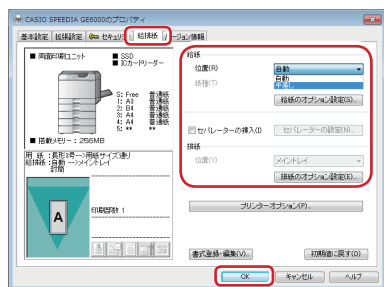
1. 次の手順で、プリンタードライバーのプロパティ画面を表示します。

- (1) 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。
- (2) 「プリンター」から印刷する機種名を選択します。
- (3) 「プロパティ」ボタンをクリックします。



60\_0074

2. 「基本設定」タブ画面の「用紙サイズ」で、「長形3号（120×235mm）」「長形4号（90×205mm）」または「洋形1号（120×176mm）」を選択します。



60\_0075

3. 「給排紙」タブをクリックします。

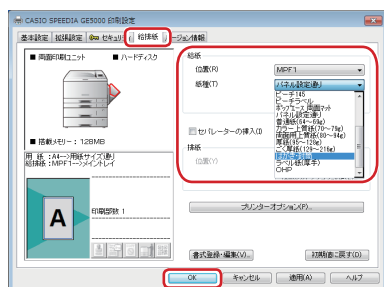
4. 「給紙位置」を次のように設定して、「OK」ボタンをクリックします。

GE6000 シリーズの場合

- ・「給紙位置」で「手差し」を選択します。

GE5500 / GE5000 シリーズの場合

- ・「給紙位置」で「MPF1」または「CPF1」を選択します。



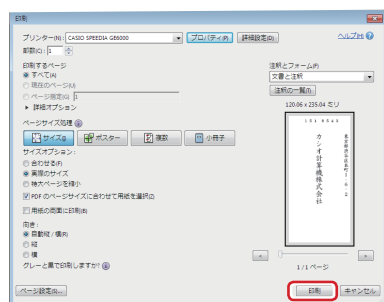
5. 「紙種」を次のように設定して、「OK」ボタンをクリックします。

GE6000 シリーズの場合

- ・「紙種」で「封筒」を選択します。

GE5500 / GE5000 シリーズの場合

- ・「紙種」で「はがき・封筒」を選択します。



60\_0076

6. 「印刷」ボタンをクリックします。

印刷が開始されます。